

Eiボード機能改善版(Ver.20.10)の予定

E i ボード機能改善版 (Ver.20.10) のリリースについてご連絡いたします。

1. 発行プログラムと対象バージョン

システム名	発行バージョン	バージョンアップの対象
E i ボード サーバー版	20.10	14.10 以降
E i ボード スタンドアローン版/ クライアント版	20.10	14.10 以降

2. 日程

2-1.ダウンロード公開

2020年3月17日(火)

※ダウンロードマネージャー、会計システムマイページ、お役立ち Tools (クライアント版のみ) で公開します。

2-2.CD提供

2020年3月23日(月) 送品開始

※「ネットワーク基本ライセンス(SV)」を保有、かつ R4 アプリケーションのいずれかで CD 保守契約を締結しているお客様に E i ボードのセットアップ CD を直送いたします。

2-3.R4アプリケーションのE i ボードについて

マイページからダウンロードする R4 アプリケーションや製品に添付されているセットアップ CD の E i ボードの Ver.20.10 への切り替えは、各 R4 アプリケーションの改版時に行います。

3. 変更内容

3-1.機能改善

■同一コードで名称が異なるデータのリストア改善

共通基本情報の「コード」「法人個人区分」が同じで名称が異なるデータをリストアするときに、リストア先の共通基本情報をリストアするデータの名称・ふりがなに置き換えてリストアする選択肢を追加しました。

※置き換わった共通基本情報に紐付いている会社データすべてに影響しますのでご注意ください。

確認

⚠ リストア先に、コードが同一で名称が異なる共通基本情報が存在します。

コード： 0530
名称：(リストアデータ) サンプル商事株式会社
(リストア先) サンプル商事㈱

このリストアデータについて、実行する処理を選択してください。

新しいコードに変更してリストアする。 新しいコード：

リストアデータの名称・ふりがなで置き換える。

このデータのリストアをスキップする。

同じ共通基本情報のコードに紐づく他データの名称も置き換わります。詳細は [こちら](#)

■データベースサーバー環境設定の改善

データベースサーバー環境設定 (DB サーバー環境設定) 画面に、「R4 アプリに設定されている情報」と実際に「コンピューターの設定から作成した情報」の両方を表示して差異を確認できるようにしました。[確定] をクリックすると「コンピューターの設定から作成した情報」を、「R4 に設定されている情報」へ登録します。

データベースサーバー環境設定

確定(F10) キャンセル(Esc) DB自動起動を登録 DB自動起動を削除 サブサーバー一覧(S)... ヘルプ(F1)

設定情報

R4に設定されている情報	コンピューターの設定から作成した情報
パラメータ: TCP/IP{DOBROADCAST=NO;MyIP=XX.X.XX.XXX;PORT=80000}	TCP/IP{DOBROADCAST=NO;MyIP=XX.X.XX.XXX;PORT=80000}
データベースサーバー名: R4_RDB	R4_RDB
コンピューター名: XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX
識別情報: *XXXXXXXXXXXXXXXXXX	*XXXXXXXXXXXXXXXXXX

診断情報

データベース接続の診断情報を取得する

共通データベース

C:\R4_RDB

■E i ボード起動時のコンピューター名チェック機能

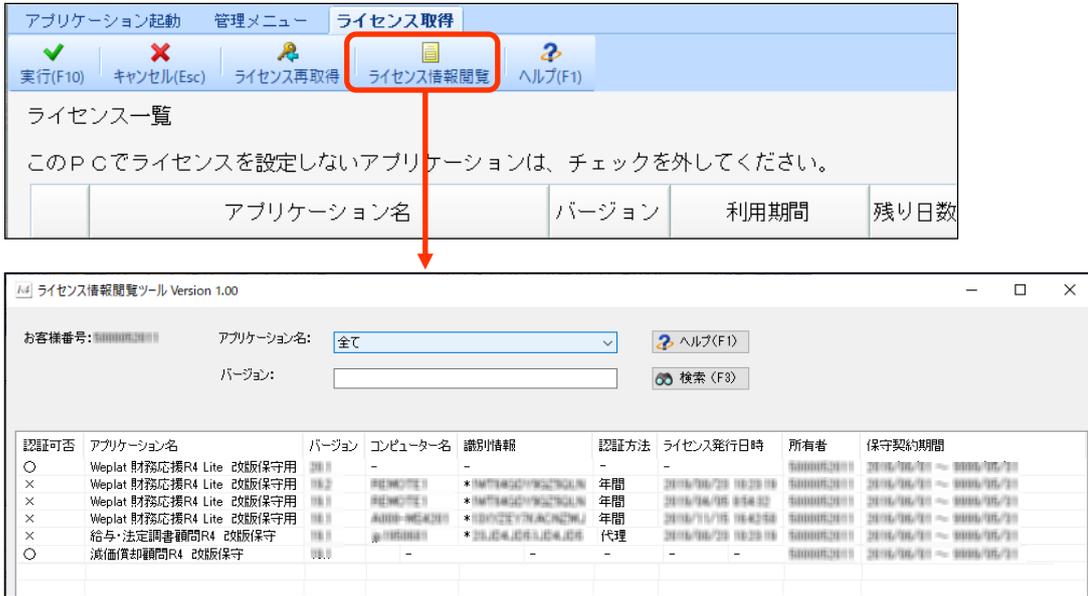
E i ボードを起動したときにコンピューター名が変更されていた場合は、データベースサーバー環境設定の画面を開いて登録情報を変更できるようにしました。

エラー

⊗ コンピューター名が変更された可能性があります。
このメッセージを [OK] で閉じた後、「変更を許可しますか？」の画面で [[はい] をクリックしてください。
データベースサーバー環境設定が起動したら、[確定(F10)] をクリックしてください。

■ ライセンス情報閲覧機能

E i ボードのオンラインによるライセンス取得時に、ログインしているお客様番号が保有しているライセンスの取得状況を確認できるようにしました。

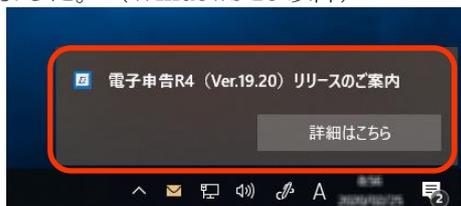


閲覧情報は次のとおりです。

項目		内容	
項目	お客様番号	ログインしている会計システムマイページのお客様番号です。 このお客様番号で保有している製品情報が表示されます。	
	アプリケーション名	アプリケーション名を指定して「検索」をクリックすると、表示するライセンス行を絞り込むことができます。	
	バージョン	バージョンを指定して「検索」をクリックすると、表示するライセンス行を絞り込むことができます。	
	ヘルプ(F1)	マニュアルが開きます。	
	検索(F3)	アプリケーション名やバージョンを指定して絞り込むことができます。	
閲覧項目	認証可否	ライセンス認証の可否を表示します。 ○：認証が可能です。 ×：認証できません。	
	アプリケーション名	保有しているアプリケーション名を表示します。貸与済製品は表示しません。	
	バージョン	アプリケーションのバージョンを表示します。	
	コンピューター名	認証したパソコンのコンピューター名を表示します。	
	識別情報	認証したパソコンの識別情報を表示します。	
	認証方法	ライセンス認証の方法を表示します。 年間：オンラインで年間ライセンスを取得した場合 正式：オンラインで通常版ライセンスを取得した場合 代理：代理認証でライセンスを取得した場合 -：上記以外	※ E i ボード Ver.17.30 以前の環境で認証した場合は [-]
	ライセンス発行日時	ライセンスを発行した日時を表示します。	
	所有者	製品の所有者を表示します。 保有している製品の場合は、ログインしているお客様番号、貸与されている場合は、貸与元のお客様番号を表示します。	
保守契約期間	保守契約期間を表示します。 保守契約がない場合は [-] が表示されます。		

■インフォメーション改善

E i ボードのインフォメーションが追加になった場合、お知らせのポップアップを表示するようにしました。(Windows 10 以降)



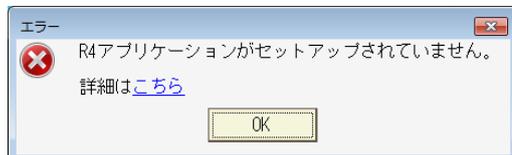
■サポートページ改善

「次回以降、起動時にこのウィンドウを表示しない」にチェックをしても、重要なお知らせが発生した場合は、R4 アプリケーション起動時にサポートページを起動するようにしました。(R4 アプリケーション毎に順次対応)

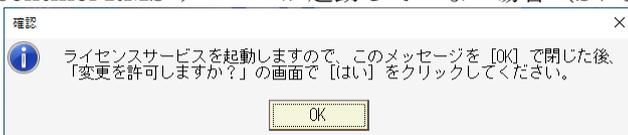
■エラー処理等改善

① E i ボード起動時のエラー「有効なライセンスがないため、起動することができません」を、原因別に次の3つに分けて表示するようにしました。

- ・ R4 アプリケーションがセットアップされていない場合 (SA)



- ・ Sentinel RMS サービスが起動していない場合 (SV または SA)



- ・ クライアントからサーバーの Sentinel RMS が確認できない場合



② accesslog.db と accesslog.log に不整合があった場合は自動で修復するよう改善しました。

③ 環境により、lsapiw32.dllの読み込みエラーで次のエラーが発生するケースを改善しました。
E i ボード起動時：有効なライセンスが無いため、起動することができません。
アプリ起動時：ファイルまたはアセンブリ'Epson.Accounting.CommonLib.License.Clr.dll'、またはその依存関係の1つが読み込めませんでした。指定されたモジュールが見つかりません。

④ R4_RDB が存在している状態で、R4 データベースをアンインストールしてレジストリを削除しても、R4 データベースを再セットアップすることでデータベースに関するレジストリが正しく設定されるようにしました。

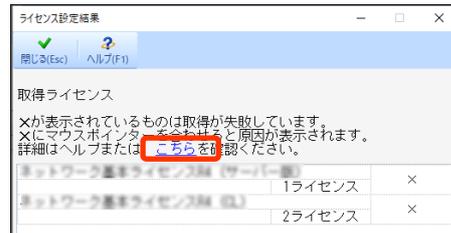
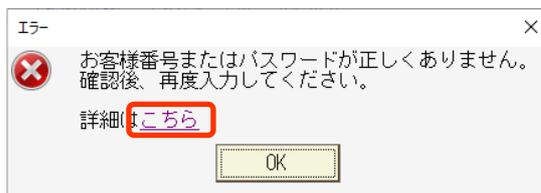
※データベースに関するレジストリが正しく設定されていない場合に発生する次のエラーは、R4 データベースをアンインストール再インストールして修復することができます。

- ・ [ダウンロードマネージャー設定] をクリックすると「呼び出しのターゲットが例外をスローしました。」
- ・ データリストア時に「リストアファイル作成に失敗しました。」
- ・ 「データベース環境設定」で [確定] をクリックすると「サーバーが見つかりません。」

⑤ 設定済みのライセンスCDを読み込んだ場合、結果を「O」として表示するようにしました。

- ⑥ お客様番号の間違い、ライセンス認証時やダウンロードサイトへの接続テスト時のエラー画面に、対処方法のFAQのリンクを追加しました。

例



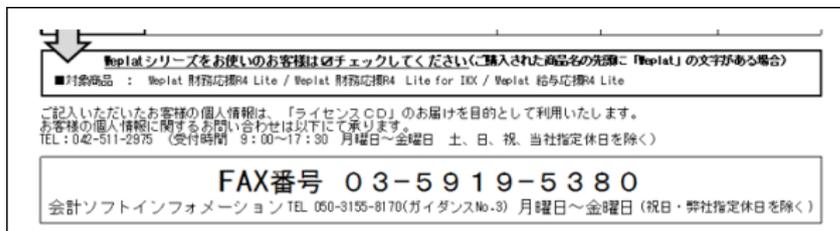
■ インターKX RDXへのバックアップ容量改善

インターKXでRDXへのバックアップ時に容量チェック(従来400GB)をせず、メディア容量分のバックアップができるようになりました。

■ ライセンス発行依頼書のフォーマット変更

FAX番号や問い合わせ先を分かり易くして、受付時間等を追加しました。

[変更前]



[変更後]



■ 製品・サービス向上のための情報利用の規約変更

製品・サービス向上のための情報利用の「2. 共同利用」に「お客様ご購入されたサポート特約店 (<https://www.epson.jp/products/ac/shoplist/>)」を追加しました。

※E i ボードをバージョンアップ後、E i ボードまたはR4アプリケーション起動時に、「製品・サービス向上のための情報利用」の同意画面が表示されます。

3-2. 障害対応

①	「別ユーザーでログイン」を行ったときに、ログイン方法が初期化されてしまう障害を修正しました。
②	保守なしの年間ライセンスを再取得すると明治33年の表記になる障害を修正しました。
③	Windows10 Home等のHomeエディションのOSで、E i ボードの全てリストアが正常に行われない障害を修正しました。
④	「Windowsにログオンしなくてもバックアップを可能にする」のとき、「バックアップ完了後、シャットダウンする」を選択しても、シャットダウンされない障害を修正しました。(HDD以外へのバックアップ時に発生)
⑤	共有ドキュメントや追加フォルダーを含めて全てバックアップを行った場合、「コレクションが変更されました」のエラーになる場合がある障害を修正しました。

4. バージョンアップの注意点

■サーバーとクライアントの両方を Ver.20.10 にバージョンアップしてください。

環境を統一するために、サーバーおよび全てのクライアントPCで、Ver.20.10 へのバージョンアップを実施していただくようお願いします。セットアップする順番はどちらからでも構いません。
※サーバーのバージョンが不一致でもクライアントPCのE i ボードのセットアップでエラーにはなりません。

■サーバーのEiボードのバージョンアップはクライアントの R4 アプリケーションを終了して行ってください。

ネットワーク版をお使いになっている場合、サーバーのE i ボードをバージョンアップする前に、全クライアントの R4 アプリケーションを終了してください。

以上、よろしく願いいたします。